

ご挨拶

日本脳脊髄液漏出症学会ワークショップ 2026

今回、日本脳脊髄液漏出症学会理事会の企画としてごワークショップ 2026 を開催させていただくことになりました。毎年の学術集会は例年 2～4 月開催としておりましたが、次回第 5 回は頭痛学会総会との併催として 12 月熊本での開催のため、“何か企画して欲しい”とのご意見があり 1 日のみの会ですが、首都圏での開催とさせていただきました。

今回のテーマは、「脳脊髄液漏出症診療においてヒヤリ・ハットしたこと、やるべきこと・やっ
てはいけないこと」としました。テーマに沿った演題やその他の一般演題など沢山の演題をい
ただいておりますが、今回のご発表、ご討論が皆様の今後の脳脊髄液漏出症診療において何ら
かの一助となれば幸いです。

ご参加の皆様の活発なご討論をよろしくお願いたします。

準備・開催にご協力いただきました関係スタッフの皆様には、心からの感謝を申し上げる次第
です。

一般社団法人日本脳脊髄液漏出症学会理事会

ワークショップ 2026 実行委員会

実行委員長 光藤 尚

中川紀充（事務局）、石川慎一、高橋浩一

会場・交通のご案内

会場：ソニックシティビル 市民ホール 第1・2集会室（401・402）

埼玉県さいたま市大宮区桜木町 1-7-5 ソニックシティビル 4F

JR 大宮駅 西口より歩行者デッキにて直結 徒歩3分



お車でお越しの方は下記の駐車場をご利用ください。（有料）

利用料金：20分／200円（最大料金 2,000円※24時間）



参加者の皆様へ

【プログラム】

プログラムは事前にメール配信、ホームページに掲載いたしますが、抄録集（冊子）はワークショップ当日にお渡しします。（1冊無料、2冊目以降は1,000円/冊）

【参加登録・受付】

事前参加登録をお願いしております。（参加申し込み最終期日 5月14日木曜日）

ワークショップ事務局アドレス jscsfl.mchp2023@gmail.com にお申し込みください。

参加費：日本脳脊髄液漏出症学会正・準会員 3,000円、非会員（医療従事者のみ）5,000円

参加費のお支払い方法については、会員の皆様には既にご案内しております。ご不明な場合には事務局までメールにてお問い合わせください。

お支払い確認後に参加登録とさせていただきます。（お支払い最終期日 5月15日金曜日）

なお、事前のお支払いなく来場の場合は、当日受付にて会員様も5,000円のお支払いをお願いします。

受付：5月24日9時30分開始。（4F 第1集会室401前 ソニックシティビル開門は9時）

受付にてお名前をお申し出ください。参加証・お弁当券をお受け取りください。

一般の方の参加は受け付けておりません。

【演題発表の方へ】

一般・テーマ関連演題：発表時間は討論を含めて10分です。

指定演題・講演：指定時間をお願いいたします。（次項スケジュール表をご確認ください）
時間厳守をお願いいたします。

発表スライドデータ受付：

ご発表の各セッション開始予定30分前までにスライド受付をお済ませください。

会場受付ではWindows、Office365を搭載したPCを用意します。USBメモリーにてデータをご持参ください。発表ファイル名には、演題番号と発表者名をお付けください。

例： 15 埼玉太郎

お預かりしたスライドデータは終了後に責任を持って消去いたします。

バックアップをご準備ください。

ご自身のPCでご発表の場合は、PC受付にお申し出ください。HDMI接続用アダプターはご持参ください。

会場にはwifi設備はありません。

【座長の先生方へ】

各セッションの進行は、座長にお任せします。時間内で進行いただけますようご協力をお願いいたします。

5月24日（日）スケジュール

9:30	受付開始（ソニックシティビル 4F 市民ホール第1集会室前）
9:55	開会の辞 光藤 尚 実行委員長
10:00	セッション1
	演題1～4（各10分） 座長 高橋浩一
10:45	セッション2
	演題5～8（各10分） 座長 光藤 尚
11:30	セッション3
	指定演題9～11（各20分） 座長 中川紀充
12:30	昼休み
	ランチョンセミナー
	演題12 厚労科研の報告 座長 山元敏正
	第5回学術集会アピール 橋本洋一郎会長
13:30	指定講演1
	演題13（20分） 座長 中川紀充
	脳脊髄液漏出症と片頭痛の鑑別戦略 講師 北村重和
13:50	指定講演2
	演題14（30分） 座長 篠永正道
	脳脊髄液静脈瘻について 講師 三宅茂太
14:20	休憩
14:30	セッション4 テーマ関連演題（各10分）
	演題15～22 座長 石川慎一、美馬達夫
15:55	閉会の辞

【お問い合わせ】

一般社団法人日本脳脊髄液漏出症学会 ワークショップ 2026 事務局
 明舞中央病院 日本脳脊髄液漏出症学会事務局内 担当 中川紀充
 兵庫県明石市松が丘4丁目1-32

TEL : 078-917-2020（病院代表）、FAX : 078-914-1877（病院代表）

E mail : jscsfl.mchp2023@gmail.com

プログラム 5月24日(日)

9:30 受付開始

9:55 開会 開会の辞 光藤 尚 実行委員長

10:00~10:45

セッション1

座長 高橋 浩一

演題番号

1 脳脊髄液漏出症難治症例の検討：小児と線維筋痛症合併例

製鉄記念八幡病院 脳神経センター 脳神経外科 佐山 徹郎

2 ブラッドパッチが有効であった脊髄空洞症の一例

山王病院 脳神経外科 高橋 浩一

3 追突事故後17年目に髄液漏出部位が明らかとなったが、髄液漏出と認められなかった症例の裁判経過と問題点

国際医療福祉大学那須医療センター予防医学センター/脳神経内科 大塚 美恵子

4 脳脊髄液漏出症の遺残は平均19年後に脳表へモジデリン沈着症を発症し得るため、慎重にフォローすべきである

東京科学大学 整形外科 江川 聡

10:45~11:30

セッション2

座長 光藤 尚

演題番号

5 視神経MRIによる視神経形態の検討

山王病院 脳神経外科 高橋 浩一

6 脳脊髄液動態に対するマウス生体下イメージング実験モデル構築のこころみ

獨協医科大学埼玉医療センター 耳鼻咽喉・頭頸部外科 穂吉 亮平

7 脳脊髄液漏出症疑いの頸部不定愁訴に対しレッドコードを用いた理学療法が奏功した一例

あつち葛飾クリニック 安斎 智彦

8 脳脊髄液漏出症に対する複合的・計画的リハビリテーションの可能性

(株) Why Body 島山 智行

11:30～12:30

セッション3 指定演題

座長 中川 紀充

演題番号

9 当院における脳脊髄液漏出症診療の現状

中通総合病院 脳神経外科 小田 正哉

10 脳脊髄液漏出症における当院の検査治療の現状

NHO 栃木医療センター 脳神経外科 倉前 卓実

11 当院における脳脊髄液漏出症診療の現況と手術2症例の提示

国立病院機構金沢医療センター 脳神経外科 藤沢 弘範

12:30～13:30 昼休み

ランチョンセミナー

座長 山元 敏正

12 厚労科研の報告 厚生労働科学研究費補助金 障害者政策総合研究事業

「脳脊髄液減少症の疫学研究及び客観的診断法に資する研究」班

埼玉医科大学 脳神経内科 光藤 尚

第5回日本脳脊髄液漏出症学会学術集会アピール

第5回会長 橋本 洋一郎

13:30～13:50 指定講演1

座長 中川 紀充

演題番号13

脳脊髄液漏出症と片頭痛の鑑別戦略 —起立性要素と治療反応性に基づく臨床的検討—

はくほう会加古川病院 脳神経内科 北村 重和

13:50～14:20 指定講演2

座長 篠永 正道

演題番号14

脳脊髄液静脈癭について

横浜市立みなと赤十字病院 脳神経外科 三宅 茂太

14:20～14:30 休憩

14:30～15:55

セッション4 テーマ関連演題

座長 石川 慎一・美馬 達夫

演題番号

- 15 開頭術後に低髄液圧症の合併が明らかになった外傷性急性硬膜下血腫の一例
石巻赤十字病院 脳神経外科 佐藤 純子
- 16 頭痛で発症し約二か月の経過で昏睡状態に陥り、両側慢性硬膜下血腫を伴って死亡した一例
厚地脳神経外科病院 脳神経外科 厚地 正道
- 17 奄美大島で発症した「脳脊髄液漏出症」患者2例の治療経験で気付かされた問題点
大井病院 脳神経外科 川原 隆
- 18 硬膜外持続生理食塩水注入後の硬膜外自家血注入により下肢筋力低下を示した難治性硬膜穿刺後頭痛の1例
東邦大学医療センター大森病院 麻酔科 石川 慎一
- 19 FDSSを伴う脳脊髄液漏出症における治療リスクと将来リスク
香川大学 脳神経外科 畠山 哲宗
- 20 脳脊髄液漏出症 (Type 1) に対する画像検査において硬膜裂孔が困難な症例の特徴とその際の工夫
東京科学大学 整形外科 江川 聡
- 21 脳脊髄液漏出症診療におけるヒヤリハット 検査・治療手技における私の傾向と対策
明舞中央病院 脳神経外科 中川 紀充
- 22 私のブラッドパッチ事始
美馬クリニック 美馬 達夫
- 15:55 閉会の辞 中川 紀充 (ワークショップ事務局)